

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 03 商業の振興

主管課 商工労働課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
人口が減少する中、高齢化が進み広域的な移動が難しくなりつつあり、消費動向は大きく変化している。 また、昨年12月の総選挙により政権交代し、以後、国において経済対策に取り組んでいることから今後の好転が期待される。	経済社会の低迷により、長期的な消費抑制が続いており、市内事業者の支援のため域内消費策が課題となっている。また、高齢化の進展とともに消費動向が低下傾向にある。

施策の目的

地域の特性を踏まえた個性的で魅力的な商店街づくりを補助・支援することで、市民が楽しく買い物ができるようにし、にぎわいのあるまちづくりを行い、商店街等中小小売商業の販売額の維持を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

事業者、商店街(振興組合等)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

江別市全体の事業者の販売額を増加させる。
地元に着した商店街の売上が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
小売業販売額	億円	920	838	835	832	920
中小小売業(従業員5名未満)の販売額割合	%	11.4	-	-	-	11.4

施策の達成状況 (24年度)

道内の大型小売店販売動向によると、全店ベースでは、昨年度に続き前年比がプラスとなっているが、既存大型店では若干の減少傾向にある。(平成24年度の実績値算出にあたっては、平成23年度実績値に北海道経済産業局・北海道大型小売店販売動向の札幌市(当市は札幌圏に属する)前年比 0.3%を乗じている。)

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータル(千円)	1,387,369	1,223,763	1,327,704
事業費(千円)	1,333,591	1,174,463	1,274,532
人件費(千円)	53,778	49,300	53,172

01 商店経営の充実

基本事業の目的

店舗の改善や設備の近代化を進め、経営基盤を強化し、品揃えや品質などの魅力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

経営基盤を強化させ、品揃えなどの魅力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
店舗改善・経営改革した卸・小売者数 【初期値(H19) 前期4年間 3件(累計)】	件(累計)	-	6	8	8	7

基本事業の達成状況 (24年度)

店舗整備のための借り入れは継続的な返済負担を生じるため少ない状況にある。また、野幌地区では8丁目通街路事業に伴い沿道および周辺の商店では、事業完了後の商店街形成を要するため、店舗整備は控えていると考えられる。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,151,805	1,033,606	1,132,739
事業費(千円)	1,141,371	1,024,387	1,121,863
人件費(千円)	10,434	9,219	10,876

02 商店街の活性化

基本事業の目的

消費者にとって便利で魅力のある地域密着型の商店街づくりを進め、日常、地元の商店街で買物をする人の満足度を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商店街(振興組合等)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商店街としての販売額を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
日常的に商店街を利用する市民割合	%	45.3	-	43.3	43.5	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

インターネットや個別宅配など販売形態の多様化により消費者ニーズが変化するなか、商店街は地域住民のニーズに応える地域コミュニティの担い手としての機能が求められており、商店街が行う活性化事業や集客イベント等への助成などを行い、来街を誘因する機会づくりを支援している。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	185,840	142,293	144,888
事業費(千円)	173,399	133,876	135,624
人件費(千円)	12,441	8,417	9,264

基本事業の目的

市民や商業者が協働して観光や地産地消の市内イベントを開催し、賑わいを創出・維持し、活性化を促進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、商業者、観光客

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

観光・市内イベントによって賑わいや訪れる場があり賑わいが創出される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
観光入り込み者数	人	981,752	749,221	749,852	845,569	1,100,000

基本事業の達成状況 (24年度)

H21年度からの観光入込客数基準の変更により、初期値より大きく減少しているが、H24年5月にオープンした施設が新たな観光スポットとなっており、野幌森林公園でも駐車場の無料キャンペーン(H24)を行ったことから入込客数が増加となった。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	22,280	21,357	21,835
事業費(千円)	10,241	9,333	9,348
人件費(千円)	12,039	12,024	12,487

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			